

## 【概要】令和6年度第2回倉吉市定住自立圏共生ビジョン懇談会 会議録

日時：令和6年12月24日（火）13：37～14：25

場所：倉吉市役所302会議室（第2庁舎3階）

### 1 開会

#### <あいさつ>

##### （事務局）

- ・次期ビジョン案について、8月第1回懇談会以降、委員様の意見や各市町事業担当課の考え方等に加え内容修正した素案を事務局から説明し、委員の皆様を確認いただき、年明けから予定しているパブリックコメントに向けて準備していきたい。

##### （会長）

- ・5年計画のビジョンが今年度最終年度を迎えるため、次期4次ビジョンの策定に向け、8月の会議で各委員コメントいただいたものを含め、担当部署・市町で議論され修正されたものを今回提示される。それについてコメントいただきたい。

##### （事務局）

- ・委員出席者数（委員18名うち、出席者12名、欠席者6名）、本懇談会設置要綱第6条第2項に規定する「会議の開催要件の過半数」を満たす旨報告。
- ・各町定住自立圏主管課及び広域連合事務局職員のオブザーバー参加の報告。

### 2 会議

#### （1）第4次鳥取県中部定住自立圏共生ビジョンの策定について（説明者：事務局）

ビジョン素案について、8月の第1回懇談会での説明や意見を踏まえたもの、成果指標や事業費等が未確定だったもの、懇談会以降各市町事業担当課で改めて事業整理した内容を反映した。その内容について、主な加筆修正箇所一覧（資料00）に沿って、修正箇所、趣旨等説明。

##### 【主な説明内容】

- ・4次ビジョン新規事業として「若者の定住雇用推進事業」を追加。
- ・「観光商品の開発強化、受入体制の充実等による観光推進事業」にエキパル倉吉、癒やしの旅プラザの管理運営を追加。
- ・「公共交通ネットワークの充実」については、策定作業中の「鳥取県中部地域公共交通計画」の内容によっては、今後変わる可能性あり。

#### <質疑応答>

（委員）資料01素案、圏域の概況について。倉吉市の「～城下町として栄えた」の表現を他の城下町と比較し、和らげたほうがよい。特産品の名称、文言など調整されてはどうか。

→（事務局）特産品については市町村要覧から転記したもの。その他については再確認する。

#### <会議後調整結果>

- ・倉吉市について、「室町時代から続く」城下町の「」部分を加える。
- ・湯梨浜町について、グラウンド（・）ゴルフ、東郷池、東郷湖はそれぞれ原案ままとする。グラウンド（・）ゴルフは個別の名称、正式名称と観光分野において池と湖の使う場面を使い分けているため。

(委員) 資料 02\_P25 地産地消拡大事業について、事業内容がイベントに傾注しているが、6 次産業の取組も入れることはできないか。

→ (事務局) 持ち帰り担当課に確認する。盛り込めない場合もある。

#### <会議後調整結果>

・今回のビジョンでは現時点では事業内容には盛り込まない。現段階、圏域で連携した 6 次産業の取組の動きはなく、例えば倉吉市でもようやく 6 次産業の検討の動きが出始めたところ。協定内容としては、既に「特産品づくり等の支援」が盛り込んであるとのことなので、各市町具体の動きが出てきた時点で、事業内容の追加については考えたい。(担当課確認済み)

(委員) 資料 02\_P23 公共交通について、運転士不足や減便の観点から、自動運転の可能性もあってもよいと思う。

→ (事務局) 事務局説明があったように、県中部地域公共交通計画を策定中。その中では自動運転は議論にはあがっていない。

(委員) 新規事業として、若者定住の取組の追加喜んでいる。例えば地元出身社長への働きかけなど、何とか企業誘致も少しずつやって、定住出来る環境も進めて行ってほしい。

(委員) 倉吉市では、水道事業でも施設や水道管の耐震化を目指している。南海トラフ等地震でも安全に、県外の人でも住んでみたいと思われるような、そうした倉吉の未来をビジョンのどこかに落とし込んでもらったら嬉しい

→ (会長) まちづくり、いろんな計画やビジョンを作っている。その計画の性格によってどんな内容を入れ込むかは違ってくる。今回は 1 市 4 町で共同で取り組むビジョンなので、そこを押さえた上で、入れ込む内容ではないと考える。

### 3 閉会